

小鳩会通信

Respice Stellam, Voca Mariam.

「私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。」 マザー・テレサ (コルカタの聖テレサ)

今回の献金先の紹介

■チャイルド・ケモ・ハウス 小児がんをはじめ、医療的ケアが必要な子どもと家族が、子どもらしく、家族らしく生活ができるよう、様々なサポートを行っています。チャイルド・ケモ・ハウスのケモは英語のchemotherapyケモセラピー (抗がん剤治療) の略。子どもが抗がん剤治療をするうえで、理想的な環境は「家」というメッセージが込められています。

■ペシャワール会 中村哲医師のパキスタン・アフガニスタンでの医療活動を支援する目的で結成されました。中村哲医師は干ばつによって生活用水や食料に困るアフガニスタンの人々のため、灌漑用水路を整備し砂漠の大地を緑によみがえらせました。共に働き現地の人々の信頼を得ていた中村哲医師ですが、2019年12月、武装グループから銃撃を受け亡くなりました。ペシャワール会はその後もアフガニスタンで命を支える事業を継続しています。

…中村哲医師の言葉「真の人類共通の文化遺産は、平和と相互扶助の精神である。それは我々の心の中に築かれるべきものである。」

高校Ⅲ年生は最後の小鳩会活動です 卒業後こそ小鳩会

高校Ⅲ年の皆さんには、これまでの3年あるいは6年間のご協力に感謝の気持ちをお伝えします。そして、卒業後の道に向けて、それぞれの力が発揮できますように、お祈りしています。小鳩会は、その時々社会・世界の困難な状況に少しでも思いを重ねながら、文字通り、一滴一滴を持ち寄りながら続けられてきました。卒業後も小鳩会の心を忘れずに、それぞれの場所でご活躍ください。ミッションスクールの卒業生として、折にふれて良心や神さまの声を聴いてください。何をすべきか、神さまが示してください。卒業する皆さんにとって、小鳩会の活動は今回で最後です。しかし、その意味について考えるのは、むしろこれから。地の塩である皆さん、さようなら。皆さんの旅立ちに神様の祝福がありますように。

12月24日(金)「クリスマスの集い」が催されました。

その際に集まったクリスマス献金は次の通り

寄付されましたのでご報告致します。ありがとうございました。

京都聖嬰会 18,607円
こどもの里 18,606円

今回の献金期間

■高校Ⅲ年生■

～2月28日(月)卒業式

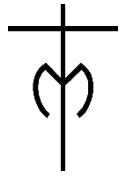
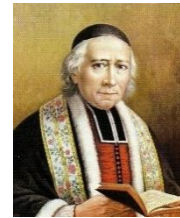
■中1～高Ⅱ■

～2月3日(木)

今回の献金先

・チャイルド・ケモ・ハウス

・ペシャワール会



1月22日は男子修道会マリア会の創立者、福者シャミニャード神父の命日です。フランス革命によって荒廃した社会を再建すべくマリア会は設立され、青少年に学びの機会を設けました。マリアニスト家族は、マリアの子となられた神の子イエスに倣って、マリアに全面的に身を委ねながら、人びとの幸せのために働きます。小鳩会活動もマリア会創立の精神に基づくものです。